

平成 31 年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2019年8月17日(土) 13時～15時 会場 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

13時～15時 本人交流会

※当事者グループフンドゥーの本日の作業活動無し→交流会として開催（昨日までお盆行事あり、参加者も少なかった為、近況報告や新規の参加者を含めた交流会としました）。

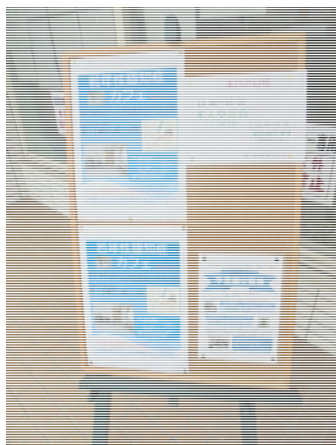
3. 当日の様子

参加者数 8人（内訳：当事者 2名、家族 4名、専門職 2名）

4. 様子

本日は、お盆のウークイの翌日の為、当事者グループフンドゥーの作業活動はお休みでした。作業は無くても、近況について交流・相談したいという方で集いました。新しい方が夫婦で来所され、ご夫婦に向けて認知症の支援について本人へストレスを与えないこと、周りの環境を整える事、本人を一人にしないこと等のアドバイスがありました。

昨日NHKの番組で放送されていた若年性認知症のテーマで軽度認知障害の予防策についての話題や、沖縄でも開催されて新聞やテレビでも話題になった「注文をまちがえる ゆいまーるな喫茶店」についても情報共有されていました。若年性認知症の人が働ける期間で本人が出来る事に挑戦する事は大切だと話されていた。又、若年性認知症の発症についての話題もあり、本人が一番体調の変化に気がついている事、それを家族や周りに気付かれない様に頑張って取り繕う。職場の方が変化に気がつきやすいが…職場から家族へ変化の事を伝えて欲しいという意見が出ていました。



次回：令和元年9月21日 13～15時 以上